

③ 共通のロゴマークがついている製品ならつながる

HEMS機器は、異なるメーカーの機器でも、データ通信が行える必要があります。そのため、HEMS機器間の共通の通信規格としてECHONET Lite（エコーネットライト）規格が制定されています。この規格に基づき、各機器が相互に接続できるかを試験し、合格して認証を取得した製品にはロゴマークをつけることができます。したがって、ECHONET Liteのロゴマークがついた機器間であれば、相互に通信が可能です。

JEMICも、エコーネットライト規格の認証・試験機関のひとつとなっています。

※ECHONETは、一般社団法人エコーネットコンソーシアムの登録商標です。

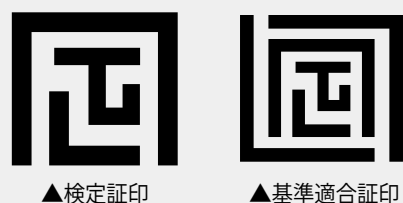


電気メーターと検定のいまむかし

第8回 平成の電気メーターの検定

平成4（1992）年に公布された現在の計量法により、指定製造事業者制度が開始されました。これは、特定計量器において、経済産業大臣から指定を受けた製造者自らが検査を行うことで、検定に代えることができる制度です。特定計量器の種類により開始時期は異なりましたが、電気メーターは、平成10（1998）年10月31日から指定製造事業者制度が開始されました。これにより、JEMIC以外で検査された電気メーターも使用されるようになりました。

JEMICによる「検定」に合格した電気メーターには、黒い封印キャップに「検定証印」が、指定製造事業者による「基準適合検査」に適合した電気メーターには、白い適合ラベルに「基準適合証印」がそれぞれ表示されています。（くらしと検定No.13及びNo.17参照）



全国のJEMIC

【本社】 〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目15番7号 ☎03 (3451) 1181 FAX 03 (3451) 1364
URL <http://www.jemic.go.jp/> E-mail soumu@jemic.go.jp

見学会のお問い合わせは、お近くのJEMICへどうぞ。



- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ●北海道支社……………☎011 (668) 2437 | ●関西支社尼崎事業所…☎06 (6491) 5031 |
| ●東北支社……………☎022 (786) 5031 | ●中国支社……………☎082 (503) 1251 |
| ●中部支社……………☎0568 (53) 6331 | ●四国支社……………☎0877 (33) 4040 |
| ●北陸支社……………☎076 (248) 1257 | ●九州支社……………☎092 (541) 3031 |
| ●関西支社……………☎06 (6451) 2355 | ●九州支社熊本事業所…☎096 (325) 2131 |
| ●関西支社京都事業所…☎075 (681) 1701 | ●沖縄支社……………☎098 (934) 1491 |

くらしと検定



No. 18 平成28年11月
【発行】日本電気計器検定所



JEMIC イメージキャラクター
「ミクちゃん」

HEMSってなに？

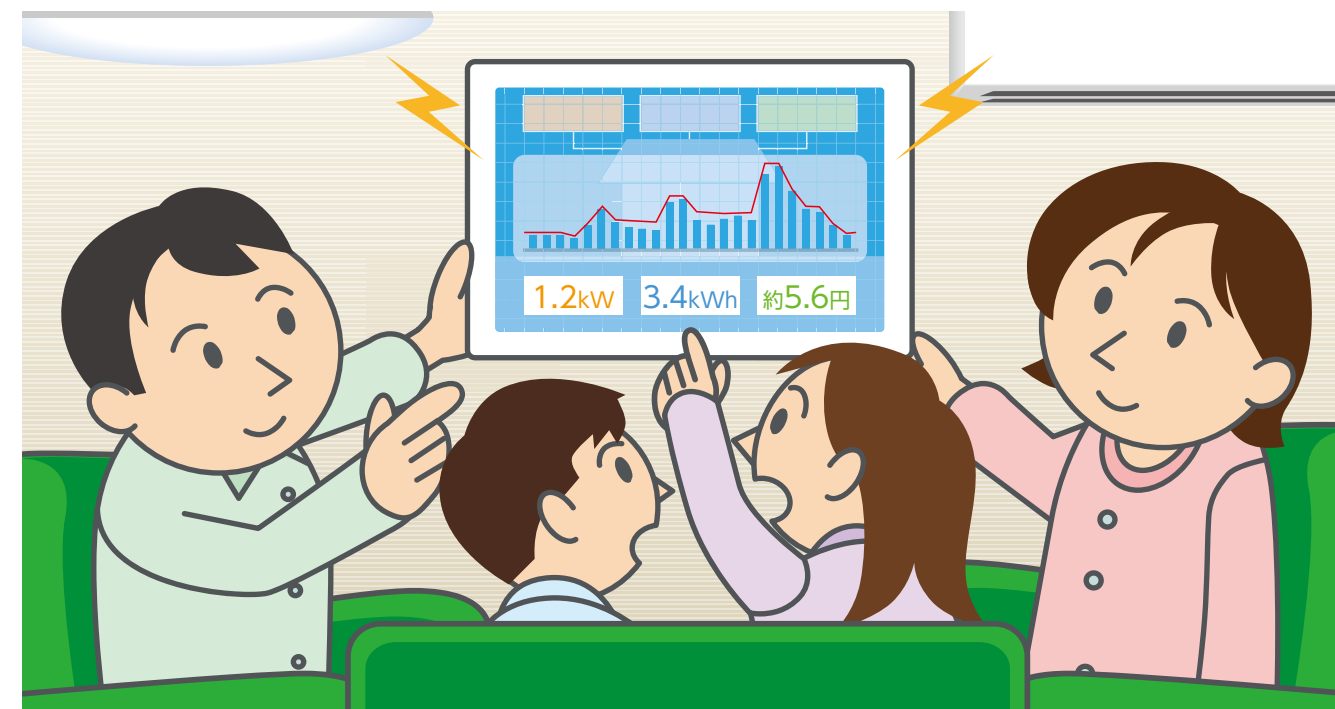
最近、省エネの話題の中でHEMSという言葉を目にする機会はありませんか？

HEMSとは、ホームエネルギーマネジメントシステム（Home Energy Management System）の略で、みなさんのご家庭で電気を節約したり、上手に使ったりするための一連のシステムのことをいいます。

たとえば、太陽光発電を導入しているご家庭では、どれくらい発電量があるのかを把握したり、エアコンや照明器具等を制御して節電したりすることができます。

また、スマートメーターが取り付けられたご家庭では、HEMSコントローラ（HEMSの中核となる機器）を通じて、これまでに使用した電力量や30分ごとの電力使用量などをリアルタイムに確認するなど電気の「見える化」が可能になります。

次のページから、HEMSとはどのようなものなのかをもう少し詳しく見ていきましょう。





HEMSのある暮らし

HEMS コントローラとは

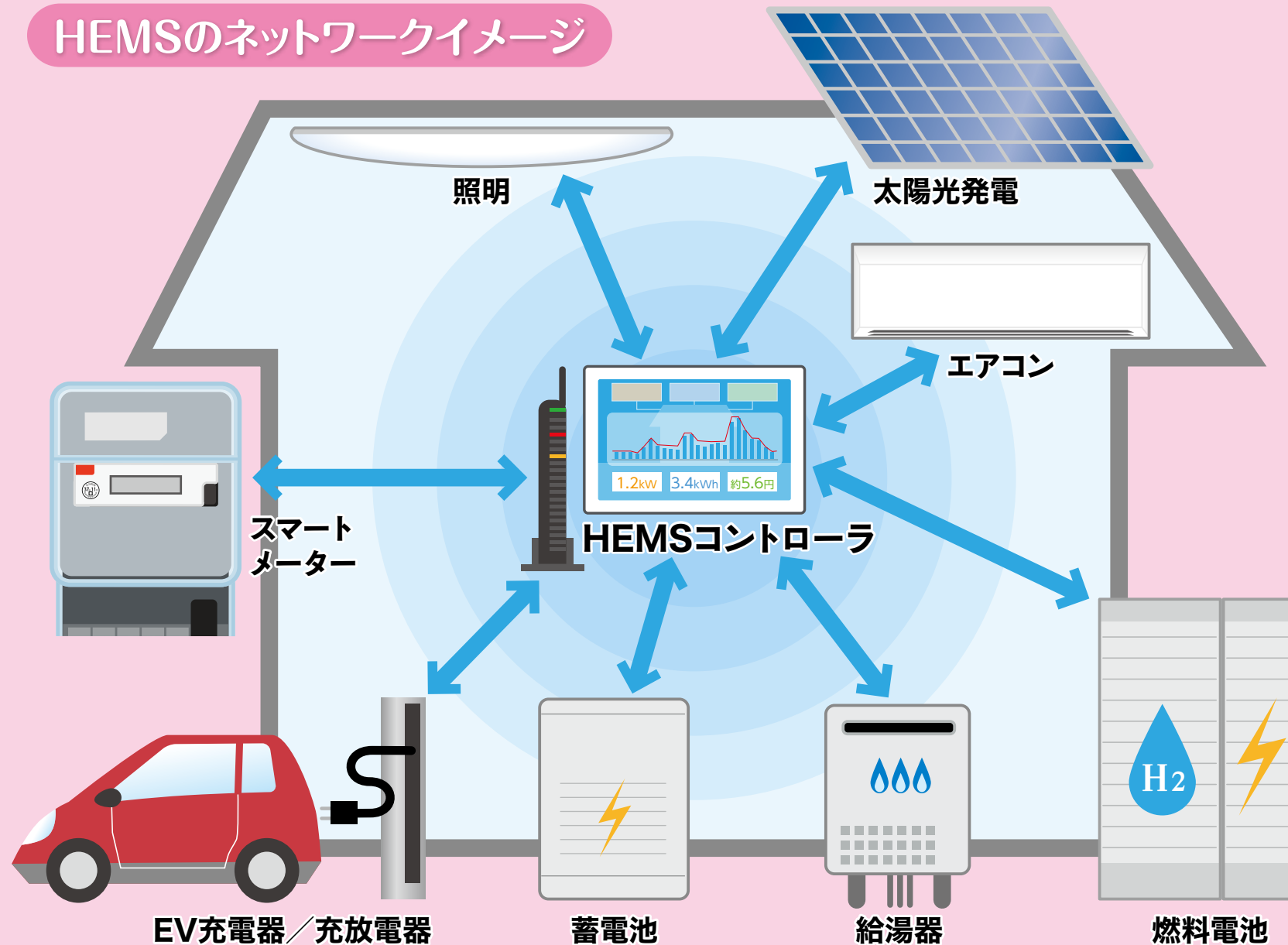
家庭内のエアコン等の機器とつないで、各機器から情報を収集したり、操作したりするHEMSの要となる装置です。

スマートメーター からのデータ取得

スマートメーターから、現在の電力使用量や30分ごとの使用量などのデータをHEMSコントローラで取得することができます。

この情報は、電力会社との取り引きに使われているスマートメーターの情報と同じものとなります。

HEMSのネットワークイメージ



HEMSで できること

①見える化による節電意識の向上

モニターなどにより、簡単に電力の利用状況を確認できるため、無駄に使われている電力に気づき、節電につなげることができます。

②エアコンや照明機器などの自動制御

自動制御により、無理なく快適に省エネが実現できます。

③太陽光発電と蓄電池の組み合わせによるピークシフト

発電した電力を蓄電池に蓄え、電力需要の多い時に使用することができます。

その他にも、今後様々なサービスが登場することが期待されています。

スマートメーター



Q&A コーナー

Q HEMS対応機器は、メーカーが違ってもしっかりつながるの？

- 1 同じメーカーの機器でないとつながらない
- 2 どのメーカーの機器でもつながる
- 3 共通のロゴマークがついている製品ならつながる

答えは
次ページを
ご覧ください！

